

クルーズ船岸壁整備事業の着工式で たくさんのお褒めの言葉を頂戴いたしました！！

12月3日（日）に函館市国際水産・海洋総合研究センター（弁天町）で、函館港若松地区旅客船岸壁整備事業着工式典が行われました。国会議員・道議会議員・市議会議員や経済界の方々が多数参加していた着工式で、私は多少場違いな気持ちで控室にいました。しかし、外国客船の来航の際には、遺愛の生徒たちが通訳ボランティアでお世話になっており、この着工式では遺愛吹奏楽局がオープニングの演奏をすることになっていたもので、出席させていただきました。

控室では、テレビでしか見ることのない国会議員の方々が、向こうからわざわざ声をかけて下さり、名刺交換をしました。

式典が始まり、オープニングの遺愛吹奏楽局は3曲（北島三郎の「函館の女」を含めて）を演奏し、絶大なる拍手を頂戴しました。その後、函館市長さんはじめ国会議員の皆さまのご祝辞が続いたのですが、皆さん、遺愛吹奏楽局の演奏の素晴らしさと遺愛の通訳ボランティアについて触れて下さり、身にあまる賛辞を下さいました。

通訳ボランティアについては、英語科の生徒が中心になって行っていますが、このボランティアをきっかけに、実践的な英語学習のモチベーションがとても高まり、英検2級以上の合格者数が急激に増えています。

後日、鈴木貴子国会議員から直筆のお葉書をいただきました。5日の消印ですから、東京に戻ってすぐに書いて下さったようです。

「…先日、クルーズ船岸壁整備事業の着工式では吹奏楽局の皆さんによる素晴らしいオープニング、今でもしっかりと心に残っています。また日頃より、客船ボランティアにもご尽力ありがとうございます。こうした活動が、皆さんの可能性を更にひろげてくれるものと私も期待してやみません。…皆さんのファンとして一筆とらせて頂きました。」その迅速な行動力に驚くとともに、とても嬉しく感じました。

2017年12月7日（木）



遺愛吹奏楽局演奏



くす玉割り